

令和8年度

学生募集要項

2026

大学院
医療科学研究科
(博士後期課程)

医療科学専攻

- 生体情報検査科学領域
- 医用量子科学領域
- 医用生体工学領域



藤田医科大学大学院医療科学研究科
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES

目 次

概要(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)・・・	1
1. 募集人員と出願日程・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3. 入学資格審査・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4. 出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5. 選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・	7
6. 試験日程及び試験会場・入試科目・・・・・・・・	8
7. 合格発表・・・・・・・・・・・・・・・・	8
8. 入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・	8
9. 学費納入金・・・・・・・・・・・・・・・・	9
10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度・・・	10
11. 奨学金・経済的支援・・・・・・・・・・・・・・・・	10
12. 修了の要件・・・・・・・・・・・・・・・・	10
13. 長期履修学生制度・・・・・・・・・・・・・・・・	10
14. 昼夜開講による履修及び研究・・・・・・・・	11
15. 授業科目と担当教員（2026年度予定）・・・	12
16. 医療科学研究科博士後期課程における特別研究の内容（2026年度予定）・・・	13
17. インターネット出願方法・・・・・・・・・・・・・・・・	17
18. 受験者注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・	20
19. 入試に関する個人成績の開示について・・・	21
20. 個人情報保護について・・・・・・・・・・・・・・・・	21
21. 試験会場地図・・・・・・・・・・・・・・・・	22
22. 交通案内・・・・・・・・・・・・・・・・	23

アドミッション・ポリシー

医療科学研究科 医療科学専攻 博士後期課程においては、大学等を卒業し、大学院修士課程もしくは博士前期課程を修了もしくはそれと同等以上の能力を有するものを対象に、次のような人材を受け入れる。

- (1) 医療科学を基盤とする各領域において、科学的根拠を探究し様々な課題を解決するために研究を志すもの
- (2) 研究テーマに関する新たな知見や技術の開発を通して真理を探究する熱意のあるもの
- (3) 先進技術を取り入れ、革新的な研究成果を世界に向けて発信する意欲のあるもの
- (4) 研究成果を社会に還元し、医療科学の発展に寄与しようとする意欲の高い教育者、研究者、指導者を志すもの

性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位、身体能力の如何によって、入学に関する優先性が影響されることはありません。
－禁煙への取り組み－ 藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

カリキュラム・ポリシー

医療科学研究科 医療科学専攻 博士後期課程にあつては、ディプロマ・ポリシーに掲げる3つの力を修得させるために、「生体情報検査科学」「医用量子科学」「医用生体工学」の3専門領域を設け、以下に示した教育課程編成方針に基づきコースワークとリサーチワークを体系的に配置する。コースワークは、専門科目と共通科目からなり、講義・演習などを適切に組み合わせ、高度な専門知識や技術、実践能力の効果的な修得につながる授業を行う。リサーチワークは、特別研究によって、課題の設定・解決、国内外への研究成果の発信能力及び先進的な技術の活用に必要な能力の修得につながる研究活動を行う。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定める。

(1) 教育内容

(1-1) 生体情報検査科学領域においては、以下のように科目を配置する。

- ・ 研究を通して、医療の変化に対応できる優れた検査科学者を育成し、教育者、研究者、指導者を輩出するために、「生体情報検査科学特論」、「生体情報検査科学演習」、「生体情報検査科学特別研究」を配置する。

(1-2) 医用量子科学領域においては、以下のように科目を配置する。

- ・ 研究を通して、急速に発展する技術に的確に対応でき、さらに高精度かつ安全な放射線医療の臨床応用の開発に貢献できる教育者、研究者、指導者を輩出するために、「医用量子科学特論」、「医用量子科学演習」、「医用量子科学特別研究」を配置する。

(1-3) 医用生体工学領域においては、以下のように科目を配置する。

- ・ 研究を通して、さらなる技術革新を推進できる優れた医科学系研究者や工学系技術者を育成し、教育者、研究者、指導者を輩出するために、「医用生体工学特論」、「医用生体工学演習」、「医用生体工学特別研究」を配置する。

(2) 教育方法

- ・ 教育者、研究者、指導者として高度な専門的知識を獲得するとともに、研究課題の設定、研究計画の立案、実験・調査・解析の遂行、論文の作成といった一連の研究活動を推進できるよう個別指導する。
- ・ 課題に対する学生のプレゼンテーションや集団討論を取り入れたアクティブラーニングを促進する。
- ・ 国際化を推進するため、英語による講義や議論を行う。
- ・ 研究遂行や、論文発表の際のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を修得するために指導教員がきめ細やかに研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。

(3) 評価とフィードバック

- ・ 各科目のシラバスに記載された到達目標に基づき、学生の行ったプレゼンテーションや成果物に対して、教員の解説や改善案などのフィードバックを行う。
- ・ 年度毎に提出する研究指導計画書や研究実績報告書に基づき、担当学生の取り組みに対して指導教員がフィードバックを行う。
- ・ 博士論文審査や博士論文発表会において、研究遂行能力や倫理観、論理展開、論文執筆力、プレゼンテーション能力が身についているかを評価する。
- ・ 教育課程が有効に機能していることを確認することを目的に、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに基づく学位プログラムの成果を把握・評価し、教育の改善に役立てる。

ディプロマ・ポリシー

医療科学研究科 医療科学専攻 博士後期課程にあつては、所定の年限以上在籍して、教育の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、論文審査及び最終試験において、以下の能力を身につけていることを学位認定の基準とする。

(1) グローバルに活躍できる力

- ・ 医療や社会の変化を見据え、革新的な研究成果を世界に向けて発信し、国内外で活躍できる力を身につけている。

(2) 連携する力

- ・ 産官学民連携・異分野連携に基づき先進技術を駆使しながら研究課題を解決し、得られた研究成果を広く発信できる力を身につけている。

(3) 未来を創造する力

- ・ 医療技術革新により未来を創造し、多様性のある次世代医療者を養成する力を身につけている。

1. 募集人員と出願日程（外国人特別選抜を含む）

専攻名	募集人員
医療科学専攻	4名

外国人特別選抜（英語コース）は秋季入学として募集します。詳細については、別途案内しています（大学院医療科学研究科入試係へ連絡してください。）

出願から入学までの日程

事 項	日 程	
	第 一 次 募 集	第 二 次 募 集
入学資格認定申請期間 (入学資格審査の必要な者)	2025年7月28日(月) ～8月1日(金)	2026年1月13日(火) ～1月16日(金)
入学資格審査結果発送	2025年8月8日(金)	2026年1月23日(金)
出 願 期 間	2025年8月12日(火) ～8月22日(金)	2026年1月26日(月) ～2月6日(金)
試 験 日	2025年9月1日(月)	2026年2月16日(月)
合 格 者 発 表	2025年9月8日(月)	2026年2月24日(火)
学 納 金 納 付 期 限	2025年9月16日(火)	2026年3月2日(月)

(注1) 第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 医療科学研究科委員会において、個別の資格審査により上記の(1)に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者

(注) 1. 出願資格(2)(3)(5)(7)のうち、外国人特別選抜（英語コース）については別途ご案内しています（大学院医療科学研究科入試係へご連絡ください）。

3. 入学資格審査

入学資格(6)、(7)により出願を希望する者は、入学資格審査が必要となります。必ず希望する特別研究担当教員(P.13～P.16特別研究の内容参照)と連絡を取ったうえで、下記要領により必要書類を受付期間内に持参又は郵送し、入学資格審査を受けてください。

なお、本研究科所定の様式(A4サイズ)は本研究科ホームページ(TOP > 学部・大学院 > 医療科学研究科(2024年度新設) > 入試情報)よりダウンロードしてください。

1) 受付期間

	受 付 開 始 日	締 切 日	備 考
第 一 次 募 集	2025年7月28日(月)	2025年8月1日(金)	郵送の場合も 締切日必着のこと
第 二 次 募 集	2026年1月13日(火)	2026年1月16日(金)	

2) 提出書類

- (1) 入学資格審査申請書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (2) 履歴書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (3) 卒業証明書(2025年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したもの)
 - (4) 成績証明書(2025年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したもの)
 - (5) 職歴にかかわる資格免許証の写し
 - (6) 研究業績調書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (7) 研究歴証明書(本研究科所定の様式[A4サイズ]に記入)
 - (8) 代表的な論文(写し可)
 - (9) 返信用封筒(宛名を明記した定型封筒[サイズ120mm×235mm]に切手760円分を貼付) 速達簡易書留にて審査結果を返信します。
- (注) 1. 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。
2. 書類保存期間経過等により(3)または(4)が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください。(様式任意)
3. 書類を提出するにあたっては、市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒に入れ、封筒のおもてに「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。郵送による提出は、必ず「書留速達郵便」としてください(締切日必着)。

3) 書類の提出先・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地98
藤田医科大学大学院 医療科学研究科 入試係(大学3号館1階)
TEL (0562) 93-2504 FAX (0562) 93-4595
土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

4) 審査結果の通知

審査結果は、郵送により本人宛に通知します。入学資格「有」と認められた者は、P.5～P.6「4. 出願手続」「4) 提出書類」(卒業証明書、成績証明書を除く)を取りそろえ、「1) 出願方法」(P.5)に従って提出してください。

〈第一次募集〉2025年8月8日(金) 結果発送

〈第二次募集〉2026年1月23日(金) 結果発送

4. 出 願 手 続

1) 出願方法

- (1) 出願前に必ず希望する特別研究の担当教員（P.13～P.16の特別研究の内容参照）と連絡を取ってください。
- (2) 出願はインターネットで行います。P.17～P.19「インターネット出願方法」の手順に従い、必要事項を入力、登録した後、入学検定料を「クレジットカード決済・コンビニエンスストア払い・ペイジー払い（銀行ATM）・インターネットバンキング」のいずれかにてお支払いください。
- (3) P.5「4）提出書類」を市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に入れ、封筒のおもてに「インターネット出願ガイダンス」から印刷した宛名ラベルを貼ってください。
- (4) 出願期間内に大学院医療科学研究科入試係まで直接持参または郵送してください。（**締切日必着**）
郵送の場合は必ず「書留速達郵便」としてください。
- (5) 「インターネット出願の登録」「出願書類の提出」「入学検定料の支払い」が以下の期間内に完了していない場合は受験することができません。
- (6) 提出書類の虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

2) 出願期間

	受 付 開 始 日	締 切 日	備 考
第 一 次 募 集	2025年 8 月12日（火）	2025年 8 月22日（金）	郵送の場合も 締切日必着の こと
第 二 次 募 集	2026年 1 月26日（月）	2026年 2 月 6 日（金）	

3) 入学検定料 20,000円

※本研究科修士課程もしくは保健学研究科（2023年度以前入学生）修士課程を修了もしくは修了見込の者は検定料不要です。

○ 申込情報の登録期間・入学検定料支払期間

第一次募集 2025年 8 月12日（火）0時00分 ～ 2025年 8 月22日（金）16時59分

第二次募集 2026年 1 月26日（月）0時00分 ～ 2026年 2 月 6 日（金）16時59分

（注）上記の登録期間・支払期間を過ぎると、登録・支払いができません。

4) 提出書類

(1) 出願確認票	本研究科ホームページ（TOP ＞ 学部・大学院 ＞ 医療科学研究科（2024年度新設）＞ 入試情報）「インターネット出願ガイダンス」から必要項目を選択し、個人情報等を入力後、A4サイズの用紙に印刷してください。 なお、「インターネット出願ガイダンス」の詳細についてはP.17～P.19「インターネット出願方法」を参照してください。
(2) 修了（見込）証明書	本研究科博士後期課程への出願資格を満たす大学院等の修了（見込）証明書を提出してください（通常は修士の学位を取得した大学院）。なお、証明書は2025年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したものとします。 ○「2.出願資格」（P.3）(2)～(4)に該当する者のうち、学位取得した者 →修了証書の写しでも提出可とします。

(3) 成績証明書	<p>本研究科博士後期課程への出願資格を満たす大学院等の成績証明書を提出してください（通常は修士の学位を取得した大学院）。</p> <p>なお、証明書は2025年4月以降に、出身学校の所定用紙により発行者が原則厳封したものとします。</p> <p>○「2.出願資格」(P.3) (2)～(4)に該当する者のうち、学位取得した者 →成績証明書の写しでも提出可とします。</p>
(4) 学位取得証明書	<p>外国の大学院を修了した者は修士相当の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等）を提出してください。</p>
<p>(5) 外国語(英語)試験の免除を受けるための証明書類</p> <div>免除申請者のみ</div>	<p>以下の資格試験に該当する場合、外国語(英語)試験を免除します。</p> <p>○資格試験名（条件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R（650点以上）※IPテストは不可 <p>該当者は、公式認定証（QRコード付きデジタル公式認定証を印刷したものでも可）の原本を提出してください（公式認定証は証書と異なります。証明書等の発行は、当該資格試験の事務局に問い合わせてください）。</p> <p>書類の郵送期限は出願期限と同じになります。あらかじめ書類を用意してください。</p> <p>書類が期限内に提出されない場合は免除申請は受理できません。</p> <p>○証明書類の有効期間は定めていません。</p> <p>○免除の可否については、結果を試験日前日までに郵送します。</p> <p>○受理した証明書類は、いかなる理由があっても返還しません。</p>
(6) 修士論文	<p>修士の学位取得者のみ提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写し可。 ・昨年度以前の修了者は、最近の論文（写し可）をもって代えることができます。
(7) 研究経過報告書	<p>修士の学位取得見込の者は、本研究科所定の様式（A4サイズ）を印刷して、修士論文の研究題目と研究の進捗状況を要約したものを記入してください。</p>
(8) 修士論文要旨	<p>修士の学位取得者は、日本語（4,000字以内）又は英語（1,500語以内）の要旨を提出してください。（A4横書き、自由書式）</p>
(9) 研究計画書	<p>入学後に研究しようとしている内容及びその計画について、本研究科所定の様式（A4サイズ）を印刷し、記入してください。</p> <p>※希望する特別研究担当教員と相談のうえ作成してください。</p>
(10) 入学資格審査結果通知書の写し	<p>P.3「2. 出願資格」(6)、(7)により出願する場合は提出してください。</p>
(11) 在留カード、特別永住者証明書の写し	<p>本邦に在留している外国人出願者は、「在留カード」もしくは「特別永住者証明書」の写し（両面カラー）を添付してください。本学に在学中の者も改めて提出してください。</p>
(12) 就学承認書	<p>在職したまま就学しようとする場合は、本研究科所定の就学承認書（A4サイズ）を印刷し、所属長の承認を得た上で提出してください。確認欄にチェックのうえ、提出してください。</p>
(13) 出願書類チェックリスト	<p>確認欄にチェックのうえ、提出してください。</p>

- 注1) 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- 注2) 書類保存期間経過等により(2)修了（見込）証明書または(3)成績証明書が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください（様式任意）。
- 注3) (7)研究経過報告書、(9)研究計画書、(12)就学承認書、(13)出願書類チェックリストは「インターネット出願ガイダンス」から印刷してください。

5) 願書受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
藤田医科大学大学院 医療科学研究科 入試係（大学3号館1階）
TEL (0562) 93-2504 FAX (0562) 93-4595
土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

6) 受験票の印刷

【印刷開始日】〈第一次募集〉2025年8月27日（水）17時00分

〈第二次募集〉2026年2月12日（木）17時00分

受験票は、試験当日必ず持参してください。

●P.19「**③**受験票の印刷」の手順に従って印刷してください。

5. 選 抜 方 法

学力試験、書類審査及び口述試験、提出書類によって総合的に判定、選抜します。

ただし、学力試験、書類審査及び口述試験いずれかの評価が著しく低い場合は不合格とします。

1) 試験内容

(1) 学力試験

外国語 英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）

(2) 書類審査及び口述試験

書類審査

口述試験 提出した研究計画書をもとに研究計画について6分以内で発表してください。プレゼンテーションを行う際のパソコン等使用機器については、希望する特別研究担当教員と事前に打ち合わせをしてください。HDMIケーブルが使用できないノートパソコンを接続する場合、機器とHDMIケーブルをつなぐ専用の変換ケーブルが必要となりますので持参してください。配付資料については、持参する必要はありません。

2) 外国人特別選抜（英語コース）の試験内容

詳細については、別途ご案内しています。

（大学院医療科学研究科 入試係へ連絡してください）。

6. 試験日程及び試験会場・入試科目

- 1) 試験日 〈第一次募集〉2025年9月1日(月)
 〈第二次募集〉2026年2月16日(月)
- 2) 集合時間 9時15分
 ※外国語(英語)試験の免除通知があった方は、11時00分までに試験会場1階へ集合して下さい。
- 3) 試験会場 本学 大学3号館
- 4) 試験時間

時 間	9:45～10:45	11:15～14:00
試験科目	英 語	口述試験

7. 合 格 発 表

- 1) 発表日
 〈第一次募集〉2025年9月8日(月) 13時頃
 〈第二次募集〉2026年2月24日(火) 13時頃
- 2) 発表場所 本学大学2号館前の掲示板に掲示及び合格者に限り本人に郵送にて通知します。合否についての問い合わせには一切応じません。

本学ホームページ(<https://www.fujita-hu.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。ホームページへの掲載については、情報の安全性に万全を期していますが、データの改ざん、通信上のトラブル、システムの「誤作動」等が発生しても本学は一切の責任を負いません。これはあくまでも合格確認の補助的な手段であり、正式には本学における掲示発表をご確認ください。なお、携帯電話の専用画面は用意しておりません。

ホームページ掲載期間 〈第一次募集〉合格発表日 15時～2025年9月10日(水) 正午
 〈第二次募集〉合格発表日 15時～2026年2月26日(木) 正午

ホームページの掲載は、システム上発表時間が多少前後することがありますので予めご了承ください。また、ホームページ掲載直後には、アクセスが集中し閲覧できないことがあります。その場合、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。

パソコンの設定によっては、最新情報が表示されない場合があります。このような場合にはブラウザの更新キーを押すなどして表示を最新のものとしてください。

8. 入 学 手 続

- 1) 合格者は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って入学手続を完了してください。
- 2) 入学手続要領に示す期限までに入学手続を完了しなければ合格を無効とします。
- 3) 外国人学生の方は、抗体価シート(予防接種歴・罹患歴)の提出が必要となります。抗体価によっては、入学時期に影響することがあります。

9. 学 費 納 入 金

- 1) 納入期限 〈第一次募集〉2025年9月16日(火)*
 〈第二次募集〉2026年3月2日(月)* ※二段階納入方式の1次納入期限

2) 納入額・納入方式

①納入額

入 学 金	150,000円
授 業 料	(年) 750,000円
計	900,000円

②納入方式

二段階納入方式です。

学費納入金〈1次〉は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って納付期限までに納入してください。また、残りの学費納入金〈2次〉は、振込用紙が3月中旬に発送されるので納入期限(3月末日)までに納入してください。〈1次〉〈2次〉共に納入期限までに納入を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

	学納金納入期限〈1次〉	学納金納入期限〈2次〉
振込用紙の発送日	合格発表日	3月中旬
納入額	450,000円	標準履修の場合： 450,000円
	内訳) 入学金 150,000円 学納金 300,000円	内訳) 学納金 450,000円
	※保健学研究科修士課程を修了し博士後期課程に入学する者は、入学金が不要です。	※長期履修学生制度及び授業料減免制度申請者は、申請が許可されたのち、その決定額に応じた残額の納入となります。
納入期限	上記1)に記載	3月末日

○一旦納入した学費は一切返還しません。ただし、入学手続きを完了した者で、**2026年3月31日(火) 17時00分(必着)**までに入学辞退届(任意作成)を提出し、入学時納付金の返還を申し出た場合には、入学金を除く授業料を返還します。

○学費納入金は、社会情勢によって次の年度に進むとき変更することがあります。

○**本研究科修士課程もしくは保健学研究科(2023年度以前入学生)修士課程を修了し博士後期課程に入学する者は、入学金不要です。**

○長期履修学生制度を希望する場合は、P.10を参照してください。

3) 授業料減免制度について

指導教員の下で自らの研究に専念しており、かつ常勤の雇用契約を締結していない学生に対して、授業料を減免する制度を設けています。

授業料の減免が許可された場合には、年額750,000円の授業料を年額450,000円減額し、年額300,000円とします。

10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度

1) ティーチング・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の教育業務を補助することにより学部における教育効果を高めることと、大学院学生に教育指導の機会を与え後継者の育成を図るとともに奨学に資することを目的として、ティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。

T・Aの手当は、授業時間1時間当たり3,000円とし、1コマ1.5時間として算定します。ただし、支給対象時間は、前後に準備や片付け等に要した時間を除く授業時間とします。また、T・Aの担当時間は年間180時間（120コマ）を上限とします。

2) リサーチ・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の行う学術研究で、かつ創造性に富んだ研究プロジェクト等を補助するため、博士後期課程の在学生によるリサーチ・アシスタント（R・A）制度を設けています。

11. 奨学金・経済的支援

1) 日本学生支援機構：第一種奨学金、第二種奨学金

2) 学校法人藤田学園奨学金、学校法人藤田学園同窓会奨学金など

3) MeRITコース

大学院博士後期課程に一般大学院生として在籍する者を対象に支援を実施しています。
支援内容：研究奨励費 240万円／年、研究費 20万円／年、キャリア支援

12. 修 了 の 要 件

以下の1)～3)をすべて満たすことを修了要件とする。

- 1) 博士後期課程に3年以上在学し、共通科目の必修科目を4単位、及び専門科目の選択科目から指導教員が指定した専門科目を含む10単位以上の合計14単位以上を修得する。
- 2) 2年次後期より（長期履修の場合、最終年次前までに）学会発表、学術雑誌への論文投稿に関する指導を受け、3年次（長期履修の場合、最終年次）の博士論文提出までに、学術雑誌に論文1編以上を投稿し採択される。
- 3) 3年次（長期履修の場合、最終年次）後期に博士論文を提出し、審査及び最終試験に合格する。

13. 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の諸事情により、大学院博士後期課程の教育課程を標準修業年限（3年）で履修することが困難な場合、標準修業年限を超えて4年・5年・6年のいずれかで修学することを認める制度です。

学費については、標準修業年限分の授業料を長期履修期間で除いた額が年額となります。

14. 昼夜開講による履修及び研究

社会に開かれた大学院教育の実現と社会人に対する再教育への要望から、本研究科では医療科学の各分野における高度な知識や技術・研究能力・臨床能力を修得する機会を与えることを目的として、昼夜開講制を採用しています。

昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に地域医療に携わっている社会人が大学院の授業・研究指導を受け易くするための制度です。

社会人による入学者を対象に、従来までの第1～5限の他に、第6限（18：00～19：30）、第7限（19：40～21：10）に授業を行うとともに、必要により土曜日、夏季休業期間の集中授業を設定することで便宜を図っています。

2025年度 共通科目 時間割（参考資料）

（前期）

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
1 (9：00～10：30)						
2 (10：40～12：10)						
3 (13：00～14：30)						
4 (14：40～16：10)						
5 (16：20～17：50)						
6 (18：00～19：30)			医療科学概論			
7 (19：40～21：10)						

■ 夜間講座

（後期）

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
1 (9：00～10：30)						
2 (10：40～12：10)						
3 (13：00～14：30)						
4 (14：40～16：10)						
5 (16：20～17：50)						
6 (18：00～19：30)						
7 (19：40～21：10)			医療科学研究論			

■ 夜間講座

15. 授業科目と担当教員（2026年度予定）

* 予定であり、変更の可能性あります。

1) 医療科学研究科 医療科学専攻（博士後期課程）

領域			授業科目の名称	単位数	担当教員
共通 科目			医療科学概論	2	小林茂樹 齋藤邦明 竹松 弘 成瀬寛之 井平 勝 鈴木康司 浅田恭生
			医療科学研究論	2	小林茂樹 齋藤邦明 竹松 弘 成瀬寛之 井平 勝 鈴木康司 毛利彰宏 浅田恭生 高津安男
専 門 科 目	生体情報検査科学領域	生体情報検査科学分野	生体情報検査科学特論	2	齋藤邦明 市野直浩 竹松 弘 成瀬寛之 鈴木康司 毛利彰宏 長尾静子 山本康子
			生体情報検査科学演習	2	市野直浩 竹松 弘 成瀬寛之 鈴木康司 毛利彰宏 和知野純一 山本康子
			生体情報検査科学特別研究	6	市野直浩 竹松 弘 成瀬寛之 鈴木康司 毛利彰宏 和知野純一 山本康子
	医用量子科学領域	医用量子科学分野	医用量子科学特論	2	小林茂樹 浅田恭生 高津安男
			医用量子科学演習	2	小林茂樹 浅田恭生 高津安男 林 直樹 笠井 聡
			医用量子科学特別研究	6	小林茂樹 浅田恭生 高津安男 林 直樹 笠井 聡
	医用生体工学領域	医用生体工学分野	医用生体工学特論	2	井平 勝 伊藤弘康 三浦康生 藤垣英嗣 水谷謙明 堀 秀生 梅沢栄三 服部秀計 大橋 篤
			医用生体工学演習	2	井平 勝 伊藤弘康 三浦康生 藤垣英嗣 梅沢栄三
			医用生体工学特別研究	6	井平 勝 伊藤弘康 三浦康生 藤垣英嗣 梅沢栄三

16. 医療科学研究科博士後期課程における特別研究の内容（2026年度予定）

*予定であり、変更の可能性あります。

1) 生体情報検査科学領域（生体情報検査科学分野）

領域	分野	科目名	授業科目の名称
生 体 情 報 検 査 科 学 領 域	生 体 情 報 検 査 科 学 分 野	<p>生体情報検査科学 特別研究</p> <p>市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 和知野 純一 山本 康子</p>	<p>各指導教員の研究テーマにそって研究活動を行うことにより、高度な専門知識を獲得するとともに、研究課題の設定、研究計画の立案、実験・調査・解析の遂行、論文の作成といった一連の研究活動を推進できる能力を養う。</p> <p>教員別研究テーマ</p> <p>< 市野 直浩 > 現在の超音波検査では、組織の「硬さ」を測定することが可能となった。その技術を応用し、疾患の早期発見・診断に寄与する研究を行う。具体的には、以下のテーマで研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. B型慢性肝炎における肝硬度を用いた発癌に対する有用な評価法に関する研究 2. 動脈硬化発症前診断を可能にするバイオマーカーの開発に関する研究 <p>< 竹松 弘 > 生命の根幹をなす生体分子の未知なる制御機能を明らかにしていく研究指導を行う。具体的なプロジェクトについては、以下のものなどがあげられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. B細胞の活性化を制御する糖鎖情報によるシグナル伝達 2. 細胞分裂を制御するリゾ型スフィンゴ脂質関連する網羅的遺伝子解析 3. 遺伝子改変動物・細胞による新たな糖鎖・脂質機能の解析 <p>< 成瀬 寛之 > 様々な疾患の臨床データを網羅的に解析し、疾患の病態生理を明らかにする。 さらにリスク層別化を通じて、患者の予後改善に繋げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 冠動脈疾患患者におけるハイリスクプラークの同定 2. 心疾患患者における急性腎障害のバイオマーカーに関する検討 3. 心臓サルコイドーシス患者の病態解明に関する検討 <p>< 鈴木 康司 > 疾病発生のメカニズム解明に寄与するとともに、新たな視点での疾病予防対策の樹立を目指し、高速液体クロマトグラフィーやゲノム解析の手法を用いた分子疫学研究の実践及び指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活習慣病の発症予防に関する分子疫学的研究 2. がんの発生要因に関する大規模コホート研究 <p>< 毛利 彰宏 > アルツハイマー病、パーキンソン病、うつ病、統合失調症、および自閉症などの精神神経疾患を対象に、血液をはじめとする臨床サンプルを用いた検討を行う。また、ヒトでの疫学的・遺伝学的知見をマウスに反映し、精神疾患モデルマウスを作製し、行動薬理的・神経化学的に病態・発症メカニズムの解析を行う。それら成果から新規治療薬・機能性食品および診断バイオマーカーの開発を目指し、研究成果を社会・医療に還元するトランスレーショナルリサーチを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床サンプル・モデル動物を用いた精神神経疾患の病態解明 2. 精神神経疾患モデル動物を用いた医薬品・機能性食品の開発 3. 精神神経疾患バイオマーカーの探索と診断薬開発

領域	分野	科目名	授業科目の名称
生 体 情 報 検 査 科 学 領 域	生 体 情 報 検 査 科 学 分 野	生体情報検査科学 特別研究 市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 和知野 純一 山本 康子	<p>< 和知野 純一 ></p> <p>医療機関で分離された薬剤耐性菌を対象に、その薬剤耐性機構を分子・原子レベルであきらかにする。そして、得られた知見を基盤に、薬剤耐性菌感染症の克服に資する創薬研究、薬剤耐性菌検査法開発に関する研究を行う。また、環境中の薬剤耐性菌に関する分子疫学解析を実施し、その結果を環境中における薬剤耐性菌対策の情報基盤として活用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次世代シーケンサーによる細菌ゲノム解析・X線結晶構造解析による薬剤耐性タンパク質の構造機能解析 2. 薬剤耐性タンパク質を標的とした機能阻害剤の開発研究 3. 環境中の薬剤耐性菌対策に資する分子疫学研究 <p>< 山本 康子 ></p> <p>疾患予備群を含む歴年的なデータベースサンプルを用いて、プロテオーム解析およびメタボローム解析を行う事で、先制医療の実現を可能とする診断薬マーカーの開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分子生物学的手法を用いた生体機能分子解析 2. アミノ酸代謝変容におけるメタボローム解析 3. 動物モデルを用いた行動解析 —トリプトファン代謝の変容を中心として—

2) 医用量子科学領域 (医用量子科学分野)

領域	分野	科目名	授業科目の名称
医 用 量 子 科 学 領 域	医 用 量 子 科 学 分 野	医用量子科学 特別研究	<p>医用量子科学特別研究では、最先端の放射線医療科学技術の知識を有する研究者、教育者の育成に必須の広汎な研究を行なう。</p> <p>医用画像から得られる生体情報を用いて人体の機能、構造を解析・理解し、形態や機能情報に基づいた画像診断に関連する研究テーマを中心とした最先端の放射線医療応用研究の実践、指導を行い、専門領域の学会、学術雑誌で発表し、社会に情報発信できる論文指導を行う。</p> <p>教員別研究テーマ</p> <p>< 小林 茂樹 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フォトンカウンティング型X線計測の原理およびエネルギー情報の活用法を理解し、フォトンカウンティング型X線検出器を用いた撮像画像および物質同定機能に関する基礎的検討を行い、臨床用次世代型マンモグラフィ開発に関する研究を行う。 2. CT, MRI, RIなどのイメージングモダリティに関して、Artificial Intelligence (A.I.)を用いた臨床に有用なソフトウェア開発に関する研究を行う。 <p>< 浅田 恭生 ></p> <p>従事者も含めた診断領域X線の被ばくに関する研究を行い、博士論文を作成する。その中で、研究テーマの選択、先行研究のレビュー、研究計画の立案、実験、考察という一連の論文作成過程を学ぶ。また、博士論文の作成を通じて、科学者の良心、研究に対する姿勢、独創的な発想、研究のありかたを学ぶ。テーマは以下の3つに集約される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者が受ける線量の評価に関する研究 2. 患者が受ける線量の測定に関する研究 3. 医療従事者の職業被ばくに関する研究 <p>< 高津 安男 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MR画像における病態解析 2. MRIにおける物理現象の定量評価 3. MRI撮像技術の開発と臨床応用 <p>< 林 直樹 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線治療における線量計測体系に関する研究 2. 放射線治療における医療安全評価法に関する研究 3. 高精度放射線治療における照射精度改善に向けた研究 4. 体表面監視法による新しい画像誘導法の構築に向けた研究 <p>< 笠井 聡 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. X線画像（胸部、マンモグラムなど）、MRI、超音波画像、音声信号、診療レポートなど各種生体検査情報を用いて、人工知能技術の社会実装の拡大につながる技術を研究し、その有効性を評価する 2. 生成AIを通して、複数のモダリティ（画像、音声データ、読影レポート）を統合する次世代の人工知能に関する研究を行う。
		小林 茂樹 浅田 恭生 高津 安男 林 直樹 笠井 聡	

3) 医用生体工学領域 (医用生体工学分野)

領域	分野	科目名	授業科目の名称
医 用 生 体 工 学 領 域	医 用 生 体 工 学 分 野	医用生体工学 特別研究 井平 勝 伊藤 弘康 三浦 康生 藤垣 英嗣 梅沢 栄三	<p>生体情報による人体の代謝機能、構造を理解し、生体の仕組みを工学へ応用することによる新たな医療機器開発を行う。先行研究や各教員との討論を基に自身の研究を深め、最先端の医用生体工学研究の実践、指導を行い、未来の社会に貢献できる研究成果を目指す。</p> <p>教員別研究テーマ</p> <p>< 井平 勝 > 臨床ウイルス学的研究を通し、特にHHV-6、VZVなど小児期における初感染時や移植に伴うヘルペスウイルス感染症の病態解明を目的とした研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HHV-6初感染または臓器移植を始めとする免疫抑制状態のHHV-6感染症の病態解明 2. 等温増幅法を用いた新規バイオマーカーの迅速診断法開発 <p>< 伊藤 弘康 > 癌・慢性感染症に対して免疫学的アプローチによる新規診断法・治療法の開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 癌・慢性感染症における免疫チェックポイント機構の解明と新規診断法・治療法の開発 2. 慢性B型肝炎ウイルス感染症に対する治療的ワクチン療法の開発 <p>< 三浦 康生 > 組織幹細胞と造血細胞の細胞間クロストークを解明する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 組織幹細胞の培養と機能解析 2. 生体ナノ粒子の分離 <p>< 藤垣 英嗣 > 生体情報を生化学的に解析し、疾患の病態解明や診断機器、治療法の開発を目的とする研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HPLCや質量分析計を用いたメタボローム解析によるバイオマーカー探索と診断薬開発 2. アミノ酸代謝を標的とした精神疾患診断薬・治療薬開発 <p>< 梅沢 栄三 > 生体内の水分子は拡散運動でランダムに動き回っている。拡散 MRI は拡散の統計的性質を利用して組織の微細構造・機能に関する情報を得る。物理学、数学、数理データ科学を使って拡散MRIの研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拡散 MRIに関する研究 2. MRIの数理的基礎に関する研究、及びそれに基づく新しいMRIの画像法・解析法の研究

17. インターネット出願方法

1 出願手続き上の注意

- ①出願書類のうち、「研究経過報告書」、「研究計画書」、「就学承認書」、「出願書類チェックリスト」はインターネット出願ガイダンスの **出願書類** から印刷してください。
- ②出願登録上、一部の文字についてはエラーになる場合があります。
氏名や住所などの個人情報を入力する際に、文字が登録エラーになる場合は常用・当用漢数字を使用して入力してください。
例) 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) Ⅲ→(算用数字) 3
(丸数字) ①→(括弧書き数字、全角数字) (1)
合格通知書等に記載される文字は、入力された常用・当用漢数字を用いますので、ご了承ください。

2 インターネット出願の手順

☑手順1⇒事前準備

下記①～⑤を準備してください。

①インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン、タブレット等

OSやブラウザは、最新の状態にアップデートしておいてください。

なお、「インターネット出願ガイダンス」ページで推奨環境を公開しています。

②メールアドレス

常時利用しているメールアドレスを登録してください。

登録いただいたメールアドレス宛に、入試に関する諸通知が配信されます。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

「出願確認票」や「宛名ラベル」等を印刷する際に必要となります。

学校・勤務先等のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービス等でも構いません。

④「成績証明書」、「修了（見込）証明書」等の出願書類

「成績証明書」、「修了（見込）証明書」等は、準備に時間がかかりますので、時間に余裕をもって準備してください。

⑤顔写真データ

1) スーツ着用、正面上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、脱帽、背景無地にて出願時から3か月前以内に撮影した無加工・無修正のもの。

2) 縦横比＝4：3の顔写真データが必要となりますので必ずアップロードしてください。
自撮りは不可（出願時に登録された顔写真は原則学生証に使用します）。

3) データ形式はJPEG（jpeg-jpg）、画像の容量は3MB以内のもの。

☑手順2⇒インターネット出願画面へアクセス

藤田医科大学ホームページにアクセスし、医療科学研究科 医療科学専攻＜博士後期課程＞のページ（TOP＞学部・大学院＞医療科学研究科（2024年度新設）＞入試情報）より、「大学院インターネット出願ガイダンス」のバナー（リンク）を押してください。

<https://www.fujita-hu.ac.jp/>

藤田医科大学

検索

☑手順3➡入試情報の入力

試験区分、選抜方法、領域、分野、指導教員等を入力してください。

☑手順4➡個人情報の入力

個人情報（氏名、生年月日、顔写真データ、住所、電話番号、メールアドレス、出身学校情報等）を入力してください。

- 顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

☑手順5➡入力内容の確認

入力した内容に間違いがないか確認してください。登録後は、入力内容の変更はできません。

☑手順6➡入力内容の確認後、お支払い方法の選択

入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認し、入学検定料をお支払いください。

入学検定料の支払い方法には、次の3つがあり、個人情報の登録後に支払い方法を選択します。その後、代行会社ペイジェント社の画面に遷移します。

- ①クレジットカード決済は、選択の登録を行うと同時に支払いが決定します。

最後に、**お支払い** のボタンを押してください。

本学の「インターネット出願」ではクレジットカード決済において、「3Dセキュア2.0（本人承認サービス）」を導入しています。クレジットカード決済を選択した場合、取引の不正利用検知・防止のために、登録した氏名、電話番号、インターネット利用環境に関する情報等をクレジットカード発行会社へ提供させていただきます。

なお、クレジットカード決済を選択する場合、事前にクレジットカード発行会社のサイトで「3Dセキュア2.0」の登録を行ってください。「3Dセキュア2.0」の詳細および登録方法は、クレジットカード発行会社にお問い合わせください。

※本人認証サービス3Dセキュア2.0とは、決済時にクレジットカード番号、有効期限等の情報に加え、お客さまがクレジットカード発行会社にあらかじめ登録したパスワードをご入力いただくことでカード会員さまご本人であることの認証を行うサービスです。

対象ブランド：Visa・Mastercard・JCB・Amex・Diners

- ②コンビニエンスストア、ペイジー（銀行ATM）による支払いは、代行会社ペイジェント社の画面に、支払い時に必要な番号が表示されます。

番号は、必ずメモをとるか、画面を印刷してください。最後に、**購入したサイトへ戻る** のボタンを押してください。

- ③インターネットバンキングによる支払いは、登録完了画面から選択後、案内に従ってください。

注）領収書（レシート）、取扱明細書兼領収書等は保管してください。

☑手順7➡登録完了・検定料の支払い

ここまでの入力で、試験情報、個人情報の入力、検定料の支払いの受付は一旦完了です。

1. 「マイページログイン情報（ユーザID（メールアドレス）、パスワード、整理番号）」を必ずメモ、印刷してください。出願内容の確認、出願確認票・宛名ラベル等の再印刷に必要です。
 2. 検定料の支払い方法でクレジットカード以外を選択した場合は、各（金融）機関で速やかに支払い手続きを済ませてください。
- お支払いの際、入学検定料を支払った整理番号の出願書類しか受理できません。修正等を理由に、新たに登録し直した場合は、整理番号に注意して検定料のお支払いや出願書類の提出等の手続きを進めてください。

☑手順8⇒出願書類の提出（直接持参、郵送）

1. 出願書類をA4サイズの用紙を使用してプリンターで印刷してください（出願書類についてはP.5～P.6「4. 出願書類」「4. 提出書類」を参照してください）。
2. 封筒（角形2号、240mm×332mm）のおもてに宛名ラベルを貼り付け、出願書類を封筒に入れ、大学院医療科学研究科 入試係まで書留速達郵便で送付していただくか、直接持参してください（締切日必着）。

③ 受験票の印刷

☑手順1⇒インターネット出願画面へアクセス

- ②インターネット出願の手順の☑手順2と同様の手順で「インターネット出願ガイダンス」の画面にアクセスしてください。

☑手順2⇒ガイダンス画面の「マイページ」へログイン

- ①ガイダンス画面トップの **マイページ** ボタンを押してください。
- ②登録したID（メールアドレス）、パスワードを入力して、 **ログイン** ボタンを押してください。

☑手順3⇒受験票の印刷

- 申し込み一覧の各種確認から **受験票** ボタンを押し、表示される受験票を印刷してください（大学から郵送することはありません）。
- 印刷した受験票は、受験及び入学手続の際に必要なため、各自大切に保管してください。

18. 受験者注意事項

- 受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は試験室に入ることはいけません。
- 試験時間中机の上に置けるものは、受験票、英語辞書（電子辞書は除く）、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、ハンカチ、目薬、時計（計算・辞書機能等がついている多機能時計を除いた、時計機能のみの腕時計及び小型の卓上時計）、ティッシュペーパー（袋から中身だけを取り出したもの）です。これ以外の使用は認めません。
（多機能時計、スマートフォン、スマートグラス、携帯電話、音の出る機器、イヤホン、耳栓、下敷き、ペンケース、定規類、シャープペンシルの芯ケースの使用は認めません。）
- 試験会場では、スマートフォン及び携帯電話は、電源を切ってカバンの中に入れてください。
（試験時間中、スマートフォン、スマートグラスや携帯電話等の電子機器類を使用した場合は、不正行為と見なします。また、身につけていたり手元にあった場合、使用の有無にかかわらず不正行為となることがありますので、注意してください。）
- 受験当日は、昼食を持参してください。
- 会場によっては時計が設置されていない場合がありますので、ご自身で時計を持参してください。（多機能のもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは認めません。）
- 試験室の入室は8時45分から可能です。
- 試験会場の下見については、建物内への立ち入りはいけません。会場までの交通機関、道順、所要時間、建物の位置の確認に留めてください。
- 急な病気等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、事前に連絡してください。
身体上の障がいや疾病等により、受験・修学に際し特別措置を希望する場合は、事前相談が必要です。出願締切日の2週間前までに大学院医療科学研究科 入試係まで申請してください。
- 試験当日は原則、公共交通機関を利用してください。その際、降雪等による交通機関への影響などに留意し、遅刻しないように十分注意してください。
- 試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症にかかった場合の対応等について

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として入学検定料の返還は行いません。
- なお、感染症の感染状況によっては記載されている試験内容と異なる方法で選抜を実施することがあります。変更が生じた場合は本学のホームページにて随時公表いたします。

19. 入試に関する個人成績の開示について

入学試験（学力試験）の個人成績について、受験生本人（不合格者に限る）から申請があった場合に限り次の要領で開示します。

1) 開示内容

学力試験（科目別）の得点、平均点

2) 申請期間

2026年5月1日（金）～2026年5月14日（木）

申請期間内の消印があるものに限り受け付けます。なお、開示は2026年6月8日（月）からとします。

3) 申請書類

(1) 学力試験個人成績開示申請書（本研究科ホームページよりダウンロード）

(2) 受験票（コピー不可）

(3) 返信用封筒

宛名を明記した**定形封筒**（サイズ120mm×235mm）に切手460円分を貼付してください。
簡易書留にて返信します。

4) 申請先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

藤田医科大学大学院 医療科学研究科 入試成績開係（大学3号館1階）

(注)1.申請に際して、本人確認のため受験票が必要になりますので、大切に保管してください。

受験票を紛失した場合は、如何なる理由でも開示しません。

2.受験票は成績に同封して返却いたします。

20. 個人情報保護について

個人情報保護に関して、藤田医科大学大学院医療科学研究科では次の通り扱います。

1) 利用目的

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、次に掲げる目的のみに利用します。

(1) 入学者選抜、合格発表、入学手続等、入学までの一連の業務を行うため

(2) その他、本大学院の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため

2) 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとします。

(1) 本学大学院医療科学研究科入学者について、名簿作成及び各種連絡通知等に使用するために藤田学園の同窓会等に提供する場合

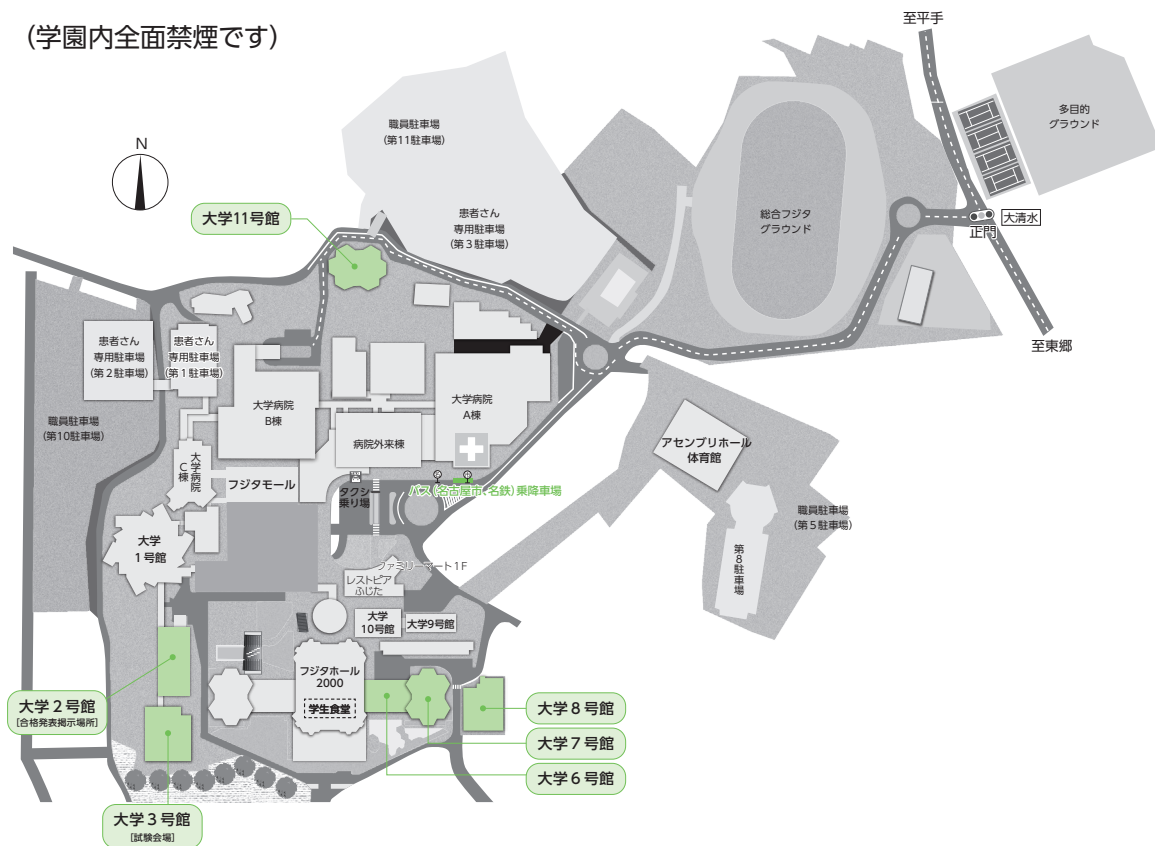
(2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合

(3) クレジットカード発行会社が行う不正利用検知・防止のために、氏名、電話番号、emailアドレス、インターネット利用環境に関する情報等を、クレジットカード発行会社へ提供する場合（利用されているカード発行会社が外国にある場合、これらの情報は当該発行会社が所属する国に移転される場合があります）

21. 試験会場地図

試験会場：本学 大学3号館

(学園内全面禁煙です)

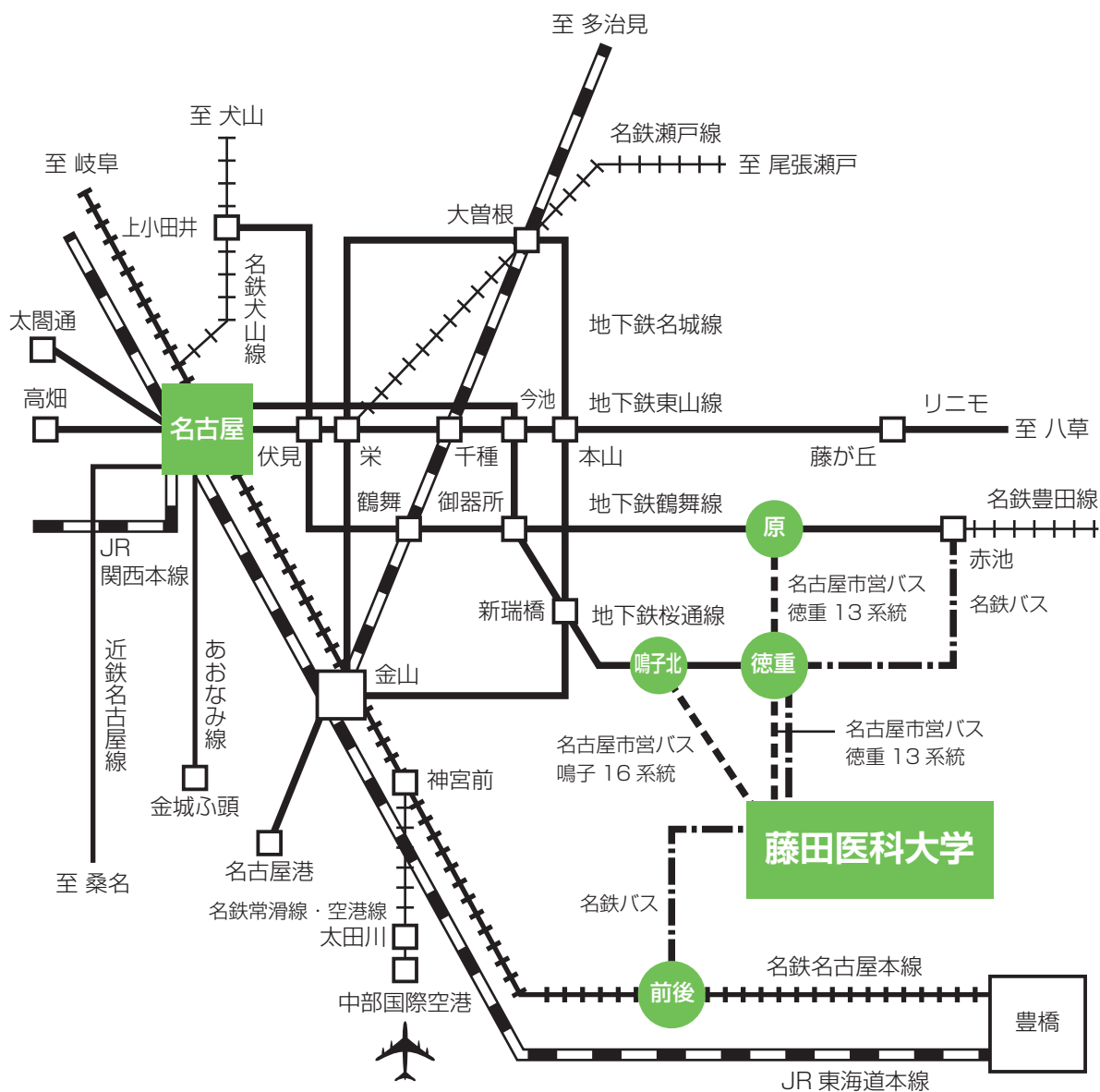
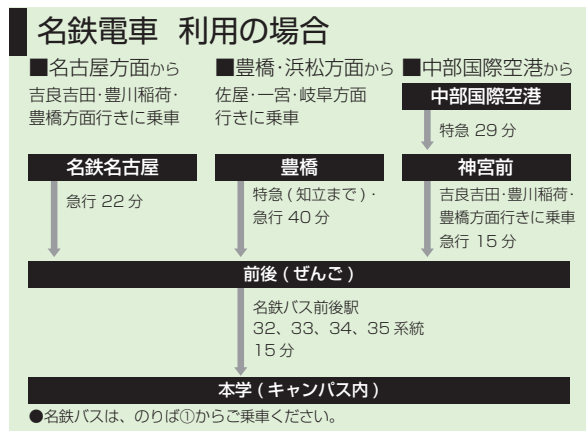
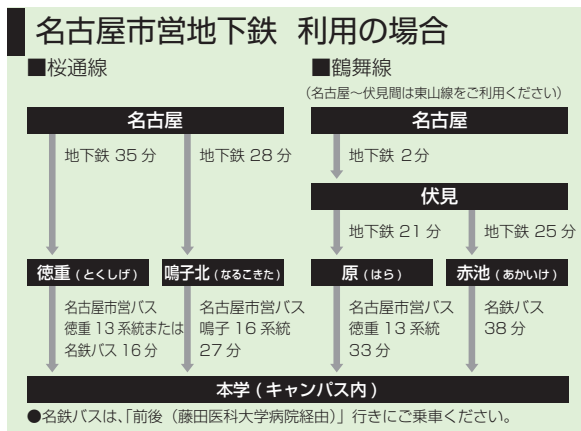


試験当日は、会場案内に従って、指定の校舎で受験してください。

- 試験当日は、学内が混雑しますので公共交通機関でお越しください。
学内には受験生用駐車場はありません。

22. 交通案内

公共交通機関でお越しの方は



**FUJITA HEALTH UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF
MEDICAL SCIENCES**

2026



藤田医科大学大学院医療科学研究科
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

入 試 係 TEL:0562-93-2504 FAX:0562-93-4595

(土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません)